



見附市立見附小学校 学校だより

「自ら学び 進んで鍛え 共に伸びる見小の子」

みしよ

No. 356

令和6年12月20日（金）発行

〒954-0052

見附市学校町1丁目3番89号

Tel 0258 (62) 0141

<https://www.city.mitsuke.niigata.jp/site/misho/>

「わたしはひろがる」

岸 武雄

わたしは小さいとき、おやつのお菓子が弟より大きくないとおこった。
じだんだふんで泣いた時もある。
わたしが世界のすべてだった。
わたしが世界のすべてだった。

やがてわたしは弟もわたしと同じように大きいお菓子をほしがっていることがわかった。
わたしはけんかしながらも、同じようにわけをとおぼえた。

ときには、弟があまりうまそうに食べるので自分の分もわけてやった。
弟といっしょにお菓子を食べるとお菓子の分量はへったがなんとなく楽しい。
こうしてわたしの中に弟がはいってきた。
こうしてわたしの中に弟がはいってきた。

おかあさんがどんなに忙しそうに働いていても、わたしは平気だった。

おかあさんは、ああいうものだと考えていた。

やがて、わたしは「おかあちゃん、わたしも手伝おうか」といえるようになった。

おかあさんと仕事すると、なんとなく楽しい。

こうして、わたしの中におかあさんがはいってきた。

こうして、わたしの中におかあさんがはいってきた。
(後略)

わたしはひろがる

校長 後藤 正美

2学期は校舎の工事が進み、時にはうるさかったり、遊ぶ場所が限られたりしました。しかし、子供たちはそんなことでイライラすることなく、しっかりと毎日を過ごしている姿に、本当に嬉しくなりました。終業式では、絵本にもなっている「わたしはひろがる」という詩の前半を基に、以下のような話を子供たちにしました。

「わたしの中に弟がはいってきた」というのは、弟を受け入れて心がひとつ広がったということです。皆さんはこの詩のように、自分の心が広がった2学期でしたか？

例えば、ちょっとしたことで前より怒らなくなった。「いやだいやだ」と思う心が少し減ってきた。ケンカしても、きちんと謝ったり折り合いをつけたりできるようになってきた。「やりたくないなあ……でもやってみよう」と、怠けたいとか逃げたい心に勝てるようになってきた。

もし、ちょっとでも心が広がったのであれば、それは一歩だけど、とても価値のある成長をしたことになります。私のような大人の心は、残念ながら簡単には成長しませんが、皆さんの心はちょっとしたきっかけで、ぐんぐん広がっていくのです。心を広げて相手を受け入れられるようになると、友達が広がることにもなります。小学生のうちに、人とかかわりながら心を広げることは、とても大切なのです。

冬休みは、ゆったり楽しむとともに、自分の心の成長のために、家庭でもできることがあるはずですよ。お手伝い、人への挨拶、進んで学習、慌てない行動などですね。心穏やかに、素敵な冬休みにしてください。

2学期の多大なご支援とご協力に感謝申し上げます、皆様お揃いでよいお年を迎えられますことを、心よりお祈り申し上げます。